

## 2014年ジャナリツ偵察報告

偵察隊 居谷千春

### 概略

TMA に渡った急造の計画書は中国滞在24日間（チベット自治区滞在20日間）の計画であったが、諸般の事情…注①で、中国滞在13日間（チベット自治区滞在10日間）と非常に短い活動となってしまった。結果的には居谷の希望したレベルの偵察結果、行動範囲を確保できたとはいえないが、来年度に本隊を派遣するとした場合の計画作成に必要な情報は集められたと考えられる。



国道109線から見えるジャナリツ、北谷奥に聳える

### メンバー

中国地質大学（武漢）：牛小洪、徳慶欧珠、宋紅  
神戸大学                  ：居谷千春、松村健司、唐木惇生  
連絡官                      ：Tserin Tashi  
ドライバー                  ：ロデ、パサン

### 行動概略

- 11月15日（土） 関西空港発北京経由武漢へ。中国地質大学（武漢）ホテル泊。
- 16日（日） 武漢発・成都経由ラサへ。西藏剛堅ラサ飯店泊。
- 17日（月） TMA 訪問、肖玲と協議、食糧買出し（食糧パック）
- 18日（火） ジープで羊八井経由ニンチョン度假村のスパ泊
- 19日（水） 牛・居谷・松村は馴化トレ、唐木が当雄診療所へ、他はBCルート散策
- 20日（木） 沙子崗最奥の村へ、結果的にスパに戻る。唐木はラサへ下山
- 21日（金） ジャナリツの確認、BC位置・ルート探索予定は果たせず。松村高熱で沈。
- 22日（土） BC 予定地までのルート確認。2隊にわけ北谷偵察。松村はラサ下山。
- 23日（日） 武漢大車でナム湖へ、西北面写真撮影。夕刻全員ラサ下山。

- 24日(月) TMA訪問、費用残金支払い。ポタラ宮見学
- 25日(火) ラサ発、成都経由武漢着、東湖のリゾートホテル泊
- 26日(水) 中国地質大学(武漢)董教授報告。博物館見学。北京へ。天坛ホテル泊。
- 27日(木) CMA訪問。李致新・李豪杰へ報告。北京発関西空港帰国。

計13日

#### 偵察結果から解ったこと

- 1、コンガ空港からラサへの高速道路はメンテ中で現在は曲水橋経由の道を使用、2時間要す。
- 2、ジャナリツは現地ではジャナボと言われており国道109号線、宁中郷から東1Km地点(鉄道と国道が交叉する所)から北谷奥に聳えているのが明確に見える。
- 3、グーグル地図にあらわれる部落名は現在の名称と違うところが多い。
- 4、ベースキャンプ予定地の朗多果という名称も現在はなくパーリンと云われている。
- 5、国道からパーリンへのアプローチは一見、宁中丘陵(仮称)の北側から回り込むのが最適のように見えたが、沙子崗(薩促崗、薩孜崗)村からのアプローチが必要
- 6、宗教上の問題、信迎的問題はほぼ解決、村・郷・県の許可(力関係)もほぼ解決
- 7、今回の駐車位置4600m(パーリン村から更に上部)からヤク運搬を開始する。
- 8、ベースキャンプ(TBC)はE稜を回り込んで、北谷に降りてしばらく登ったところ5000mの水辺の平坦地周辺が最適かと考えられる。
- 9、デチンとソンホンが達した5400m(ヤク放牧最終地点)附近にABCを建て、本格登山活動を開始する。
- 10、ルート工作、fixロープ約500m、アタックキャンプは5800m周辺
- 11、偵察活動費は、日程が縮小しようと、人数が減ろうと減額はない。
- 12、ナム湖は当雄から峠越えの道がある(有料)
- 13、登山期間は9月、10月が良い